



カーボン ニュートラル宣言と 計画書

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社

2024年5月8日

目次

1. カーボンニュートラルの宣言.....	3
2. 算定対象.....	5
2-1.対象拠点.....	5
2-2.対象範囲.....	5
2-3.カットオフ基準.....	5
2-4.対象期間.....	5
2-5.参照ガイドライン.....	5
3. 算定方法.....	6
3-1.Scope1 排出量.....	6
3-2.Scope2 排出量.....	6
3-3.不確実性と変動性の確認.....	6
4. 算定結果.....	7
5. カーボンフットプリントマネジメントプラン.....	8
5-1.基準年.....	8
5-2.GHG 排出量削減目標.....	8
5-3.GHG 排出量削減の取組.....	8
5-4.オフセット戦略.....	8
6. GHG 削減量の決定.....	9
6-1.基準年排出量と削減量.....	9
7. オフセット.....	10
8. その他.....	11

1. カーボンニュートラルの宣言

BAT

Bold Ambitions for the Future

At BAT, we began reporting on our carbon emissions in 2001 and set our first long-term carbon-related target in 2007. In 2019, we set carbon neutrality targets, covering our entire direct operations.

However, it is clear that limiting global warming to 1.5°C requires a greater coordinated effort to stay within carbon budgets and reduce absolute emissions.

Our Science-Based Targets (SBTs), approved by the Science-Based Targets initiative (SBTi) in July 2022 are in line with a 1.5°C warming pathway. **We aim to:**

- Reduce absolute Scopes 1 and 2 GHG emissions 50% by 2030 from a 2020 base year;

- Reduce absolute Scope 3 GHG emissions from purchased goods and services, upstream transportation and distribution, use of sold products and end-of-life treatment of sold products 50% by 2030 from a 2020 base year;

- Have 20% of our suppliers by spend covering purchased goods and services adopt SBTs by 2025.

Our climate targets are supported by a range of commitments across energy, waste, water and biodiversity.

This Low-Carbon Transition Plan details the targets and actions that will enable us to achieve our climate goals.



BAT Japan

Carbon Neutrality Declaration

Carbon neutrality of Tokyo Head office, Sapporo sales office, Nagoya sales office, Osaka sales office and Fukuoka sales office achieved by British American Tobacco Japan, Ltd. in accordance with PAS 2060 at 30/11/2023 with commitment to maintain to 30/11/2024 for the period commencing 1/12/2023, BSI Group Japan K.K. certified.

Emma Dean
General Manager
British American Tobacco Japan, Ltd.

宣言

「ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社は、2023年11月30日現在、PAS2060に基づき、本社、札幌営業所、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所のカーボンニュートラルを達成し、2023年12月1日から2024年11月30日まで維持することを約束し、BSIグループが認証した。」

責任者

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社

社長 : エマ・ディーン

対象拠点

日本国内のすべての拠点（本社、札幌営業所、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所）

対象範囲

Scope1、Scope2

適用期間

2022年12月1日から2023年11月30日に行った活動および2023年12月1日から2024年11月30日に行う活動

適合性評価

宣言のタイプ : I3P-3

独立した第三者機関による認証

検証機関 : BSI ジャパン

検証完了日 : 2024年6月17日

2. 算定対象

2-1.対象拠点

日本国内のすべての拠点（本社、札幌営業所、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所）

2-2.対象範囲

対象拠点における営業活動および付随する管理業務が対象。Scope3 についてはグローバルで取り組んでおり、日本国内の対象からは除外している。

2-3.カットオフ基準

対象なし

2-4.対象期間

2022年12月1日から2023年11月30日に行った活動および2023年12月1日から2024年11月30日に行う活動

2-5.参照ガイドライン

GHG プロトコル

PAS2060:2014

3. 算定方法

算定対象の温室効果ガスは、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF₆）、三ふっ化窒素（NF₃）とする。活動量の収集は一次データの取得を基本とし、一次データが得られない場合は二次データを使用する。各排出段階における算定方法は以下の通り

3-1.Scope1 排出量

組織における GHG の直接排出を把握する。各拠点における営業車の移動に伴う排出が該当する。活動量は車両リース会社より提供される燃料使用量から算出し、得られた活動量に対して、対応する排出係数を乗じることで排出量を算出する。排出係数には DEFRA Greenhouse Gas Reporting: Conversion Factors の報告年における最新版を使用する。

3-2.Scope2 排出量

組織における GHG の間接排出を把握する。各拠点におけるオフィスの電力使用に伴う排出が該当する。活動量は請求書に記載のエネルギー使用実績より算出する。得られた活動量に対して、対応する排出係数を乗じることで排出量を算出する。排出係数には DEFRA Greenhouse Gas Reporting: Conversion Factors の報告年における最新版を使用する。

3-3.不確実性と変動性の確認

排出係数に二次データを使用しており、算定時の最新の係数を使用しているが、排出係数の見直しにより変動する可能性がある。

4. 算定結果

2022年12月1日から2023年11月30日のScope1,2排出量を以下に示す。なお、Scope2はマーケット基準による結果を使用しており、対象年度においてはグリーン電力証書および非化石証書の使用により0 tCO₂eとなっている。

排出量 tCO ₂ e	2022年12月1日～2023年11月30日
Scope1	1,097 tCO ₂ e
Scope2 (マーケット基準)	0
計	1,097 tCO ₂ e

5. カーボンフットプリントマネジメントプラン

1 項にて掲げたカーボンニュートラルを達成するための、GHG 排出量削減目標、GHG 排出量削減の取組、オフセット戦略を含むカーボンフットプリントマネジメントプランを以下に示す。

5-1. 基準年

2020 年（2019 年 12 月 1 日～2020 年 11 月 30 日）を基準年とする。

5-2. GHG 排出量削減目標

2030 年までに Scope1,2 50%削減、2050 年までに 100%削減することを目標とする。

5-3. GHG 排出量削減の取組

Scope1：2017 年から営業車両のハイブリッド（HV）化を進めており、2022 年に 97%の車両を HV としている。今後バッテリー電気自動車（BEV）化を進める予定としており、2023 年には BEV を 1 台導入した。さらに 2024～2026 年に東京エリア、2026～2028 年に全国で BEV 化を進める。またエコドライブの啓発による燃費改善にも取り組んでいる。

Scope2：グリーン電力証書及び非化石証書による再エネ 100%導入を達成している他、フロアの LED 化、照明の夜間自動消灯等の省エネを実施している。今後も社員への省エネ啓発活動等、継続的に省エネ施策を進める。

5-4. オフセット戦略

5-3. GHG 排出削減の取組に記載の内容を実施した上で削減できなかった残余分についてオフセットを行う。BAT グループにおけるオフセットに使用するクレジットの調達に関するガイドライン（BAT GROUP CLIMATE CHANGE & ENERGY STANDARD から抜粋）を以下に示す。

Verified Carbon Standard（VCS）、Gold standard、American Carbon Registry、Climate Action Registry、および CDP が認めた他の基準によるクレジットを使用する。

6. GHG 削減量の決定

GHG 削減量は基準年排出量と対象期間排出量の差から算出する。なお、基準年排出量の算定方法は3項に示す算定方法と同様の方法を使用している。

6-1. 基準年排出量と削減量

基準年（2019年12月1日から2020年11月30日）のScope1,2 排出量および対象期間（2022年12月1日から2023年11月30日）の削減量を以下に示す。

排出量 tCO ₂ e	2019年12月1日～ 2020年11月30日	2022年12月1日～ 2023年11月30日	削減量	削減率
Scope1	1,597	1,097	500	31%
Scope2 (マーケット基準)	156	0	156	100%
計	1,753	1,097	656	37%

7. オフセット

4 項の算定結果より、対象年のオフセット対象 GHG 排出量は 1,030 tCO₂e。5 項のクレジット調達ガイドラインに従いクレジットを調達し償却を行っている。以下に詳細を示す。

クレジット数量	1,100 tCO ₂ e
認証プログラム名称	VCS (Verified Carbon Standard)
シリアルナンバー	9894-156808747-156809846-VCS-VCU-1310-VER-CN-14-2087-01012019-31122019-1
プロジェクト名	Chudu Afforestation Project
プロジェクト 実施国・実施地域	China
プロジェクト期間	2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日
償却日	2024 年 3 月 7 日

参照リンク：[Verra Registry](#)

8. その他

- ✓ 文書類（記録を含む）は、カーボンニュートラルの状態が有効である期間と、その後6年間保持する。
- ✓ カーボンフットプリントマネジメントプランは少なくとも12か月ごとに更新する。
- ✓ カーボンニュートラル宣言における文書類（記録を含む）は独立した第三者検証機関による検証を受けるものとする。
- ✓ カーボンニュートラル宣言期間中に、宣言を無効にする可能性のある変更またはイベントが発生した場合、有効性を回復するために3か月以内に発行する是正措置を講じる、または宣言を撤回する。

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
Ver1.0	2023年7月1日	初版発行
Ver1.1	2024年5月8日	2023年度分更新